



令和5年5月
浜松市立赤佐幼稚園

カレーパーティ開催！

5月18日(木)にカレーパーティを開催。新型コロナウイルス感染防止対策により中止が続いていましたが、このたび3年ぶりの実施となりました。

年長組にとっては初めての行事。全く分からないところからのスタートでしたが、自分たちが調理してカレーをつくるのがうれしく、やる気満々だったようです。必要なものは何かを自分たちで考える中で、事前に右のような看板までつくり、年中組や年少組、職員室の先生たちにもお知らせしてくれました。看板の中に絵が添えてあるのは、「字が読めない子もいるから、絵でかくのもいいら！」と、年少組や年中組のために思いを馳せて生まれたアイデアのようです。自ら考えて行動する主体的な取組がカレーパーティ実施前から見られ、感心しました。



カレーパーティの当日は・・・

当日は、クッキングサークルのお母さんたちに手伝ってもらいながら調理を実施。この日に初めて調理する子、御家庭で調理を経験している子といましたが、自分たちの手で美味しいカレーをつくりたい思いや危ない包丁を取り扱うことから、みんなが目の前のことに集中して取り組んでいました。たまねぎの皮むきでは、目を辛そうにしながらも頑張っている子もいて、その姿がほほえましかったです。また、クッキングサークルのお母さん方も、お互いに声を掛け合いながら子供たちのために動いてくださる姿が、頼もしく映りました。



目で見て、匂いを感じて。

じゃがいもや人参がどのような形となっておなべに入るか、実際に手に取ってみたり、目で確認してみたり、炒めている時に沸き上がる匂いを感じ取ったり・・・、調理する過程で五感が大いに刺激されたように思います。体験から気付いたことや学んだことが、子供たちにはたくさんあったのではないのでしょうか。



みんなで食べる楽しさ。

出来上がったカレーを口にすると、たまねぎの甘味が感じられてとても美味しかったです。たくさんの量ができたため「余ってしまうかな？」と心配しましたが、おかわりしてくれた子が結構いて、クッキングサークルの皆さんや職員もよく食べてくれて・・・、終わってみれば残ったのは少しだけ。みんな、お腹いっぱい食べた満腹感が味わえたことと思います。お互いに顔を見合わせ、楽しく会食できた体験は、これまでコロナ禍でなかなか味わえなかっただけに、改めてその良さを実感する場となりました。



その姿は引き継がれていく。

年長組が調理に取り組む姿を、遠くから見ていた年中組。憧れの姿として心に残ったことと思います。実はこの見る体験が非常に大切で、自分たちが同じ立場になった時に、思い出しながら頑張ってくれてくれることでしょう。そして、美味しいカレーをつくってくれることでしょう。1年後が待ち遠しく思います。



園評価委員会を実施しました。

5月24日（水）に、PTA役員の方や自治会長、民生児童委員の方をお招きして、第1回目の園評価委員会を実施。今回は、保育参観と園の経営、教育について説明を聞いてもらった上で意見交換を行いました。

より良い園経営、教育実践を行うためには、外部の方からの御意見がより貴重なものとなります。また、年度の後半には皆さんに園評価を実施し、その結果も改善の材料とします。子供、保護者、地域の皆さんにとって良かったと思ってもらえる幼稚園を目指して頑張っていきたいと思えます。

